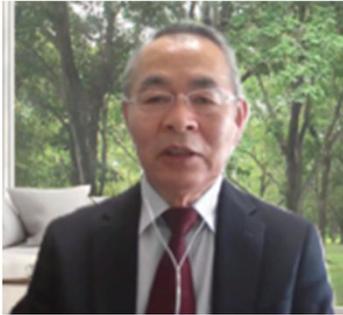


「情報通信月間記念講演会」を開催



楽天モバイル株式会社
代表取締役副社長 松井 房樹氏
【Web形式での講演の様様】

北陸総合通信局(局長 蒲生 孝)は、令和3年7月9日(金)、北陸情報通信協議会との共催により、金沢商工会議所(石川県金沢市)とWeb形式のハイブリッド方式で「情報通信月間記念講演会」を開催しました。

冒頭、主催者を代表して、蒲生局長が挨拶し、その後、講師の松井 房樹氏(楽天モバイル株式会社 代表取締役副社長)が、「楽天モバイルの挑戦～国民生活の利便性向上とデジタル社会の推進～」と題して、講演を行いました。

はじめに、楽天モバイル株式会社が、携帯キャリア事業に参入した経緯や理念、世界初となる「完全仮想化クラウドネイティブモバイルネットワーク」の導入などを紹介し、既存携帯キャリア事業者と異なるアプローチと固定概念に縛られない発想で事業に取り組んでいる同社の特徴を述べました。また、5Gによるサービスの多様化が進むなかで、相互運用可能でオープンな無線アクセスネットワーク(Open RAN)のメリットやグローバル市場における標準化に向けた積極的な推進などの取組を紹介しました。

さらに、今後のサービス向上に向けた課題や、自然災害により甚大な被害が多発している現状を踏まえ、衛星通信等を利用し、災害発生時でも安定したサービスが提供できる通信・ネットワーク環境を構築する必要性を述べました。

最後に、格安キャリアではなく、グローバル戦略と構想を持って、国民の皆様に利益を還元することの重要性を強調し、講演を締めくくりました。

当日は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、ハイブリッド方式での開催となりましたが、64名が聴講しました。

※ 今回の講演会は、情報通信の普及・振興を図ることを目的として毎年実施している「情報通信月間」の行事として取組んだものです。



【金沢商工会議所では、参加者を制限して聴講】